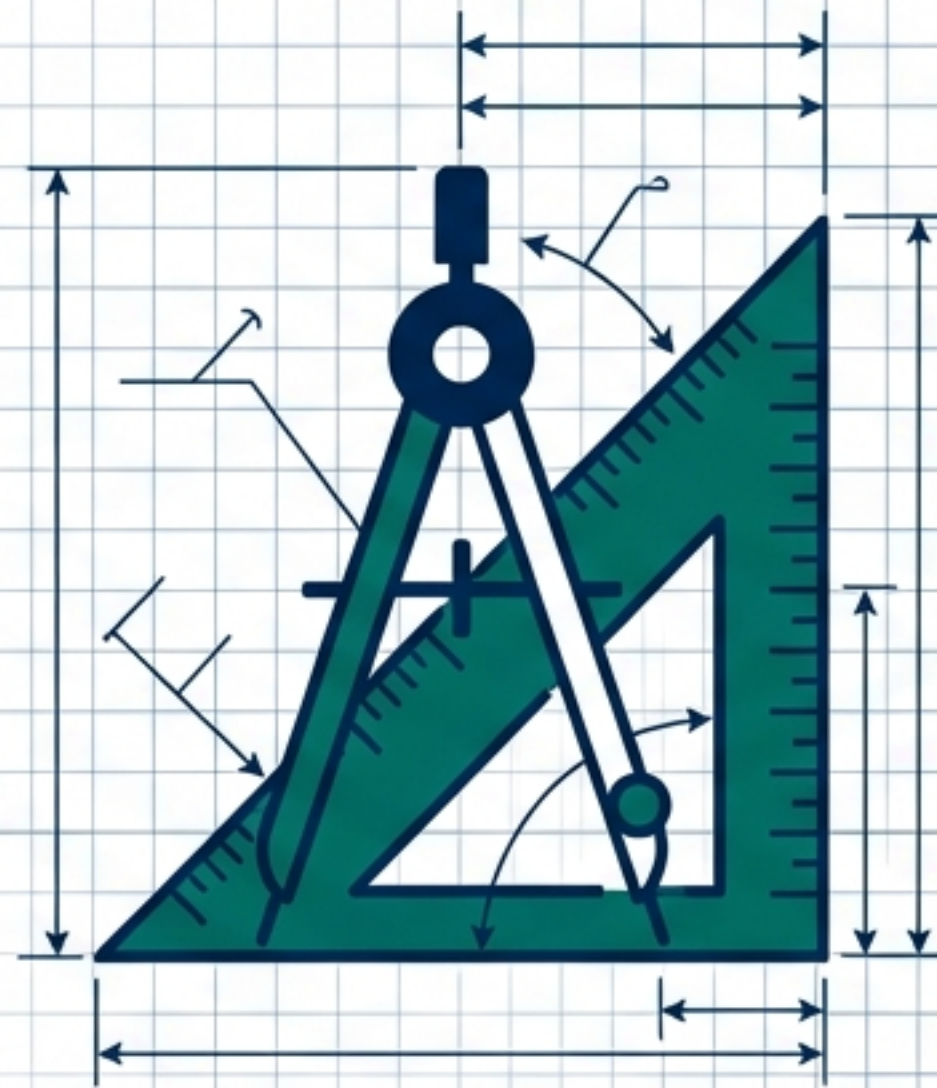




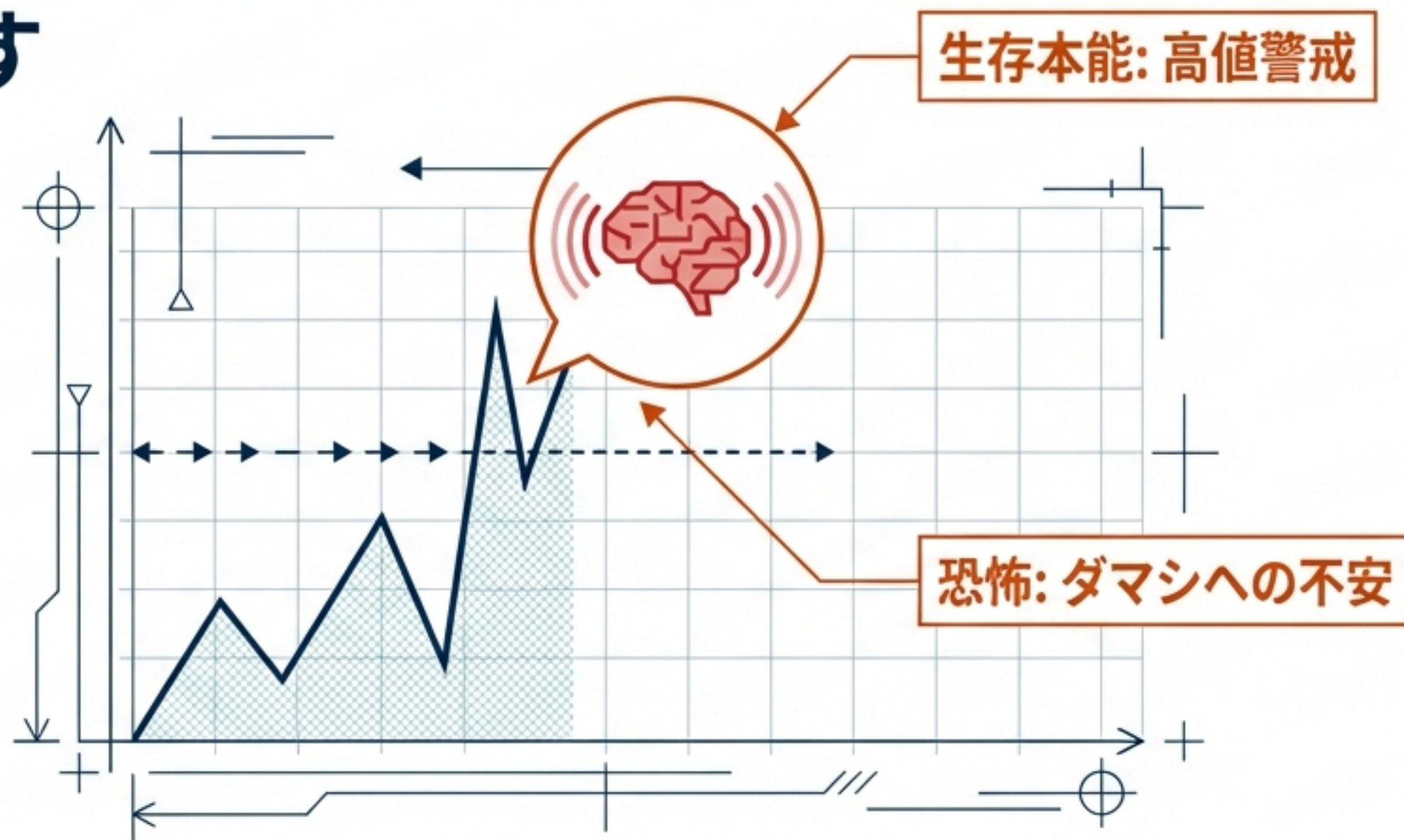
「ブレイクアウトが怖い」を卒業する

勇気ではなく「設計」で勝つためのトレード戦略

Font: Noto Sans JP | Based on the methodology of logical market analysis.

高値掴みが怖い？ それは「正常」な反応です

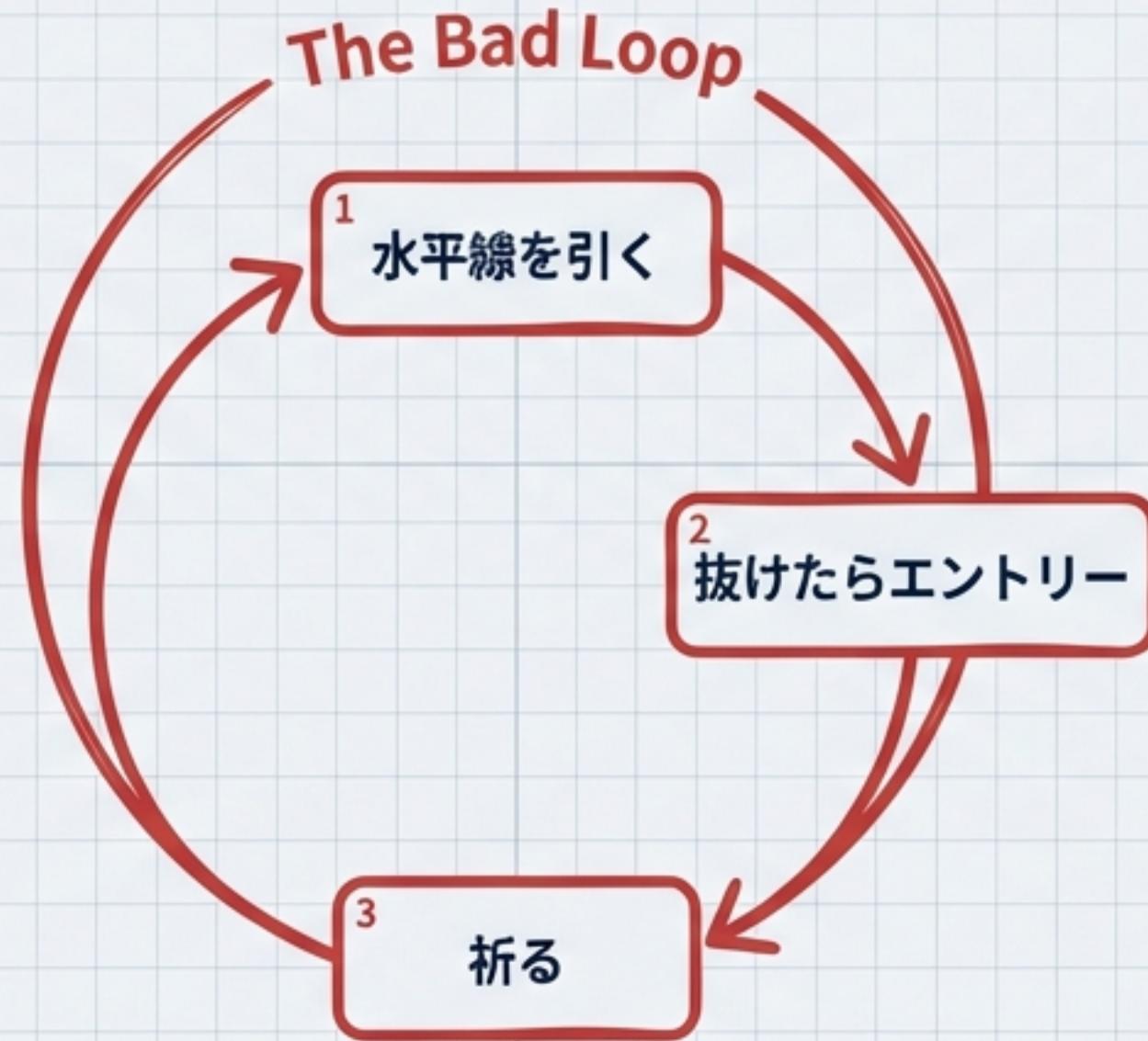
- 「高値で買いたくない」「安値で売りたいくない」というのは人間の生存本能です。
- エントリー直後の逆行（ダマシ）や、含み損を抱える恐怖は、脳が危険を察知している証拠であり、あなたが賢い証でもあります。



恐怖を感じるのは、才能がないからではありません。
本能に逆らう行為をしているからです。

恐怖の正体は「ブレイク」そのものではない

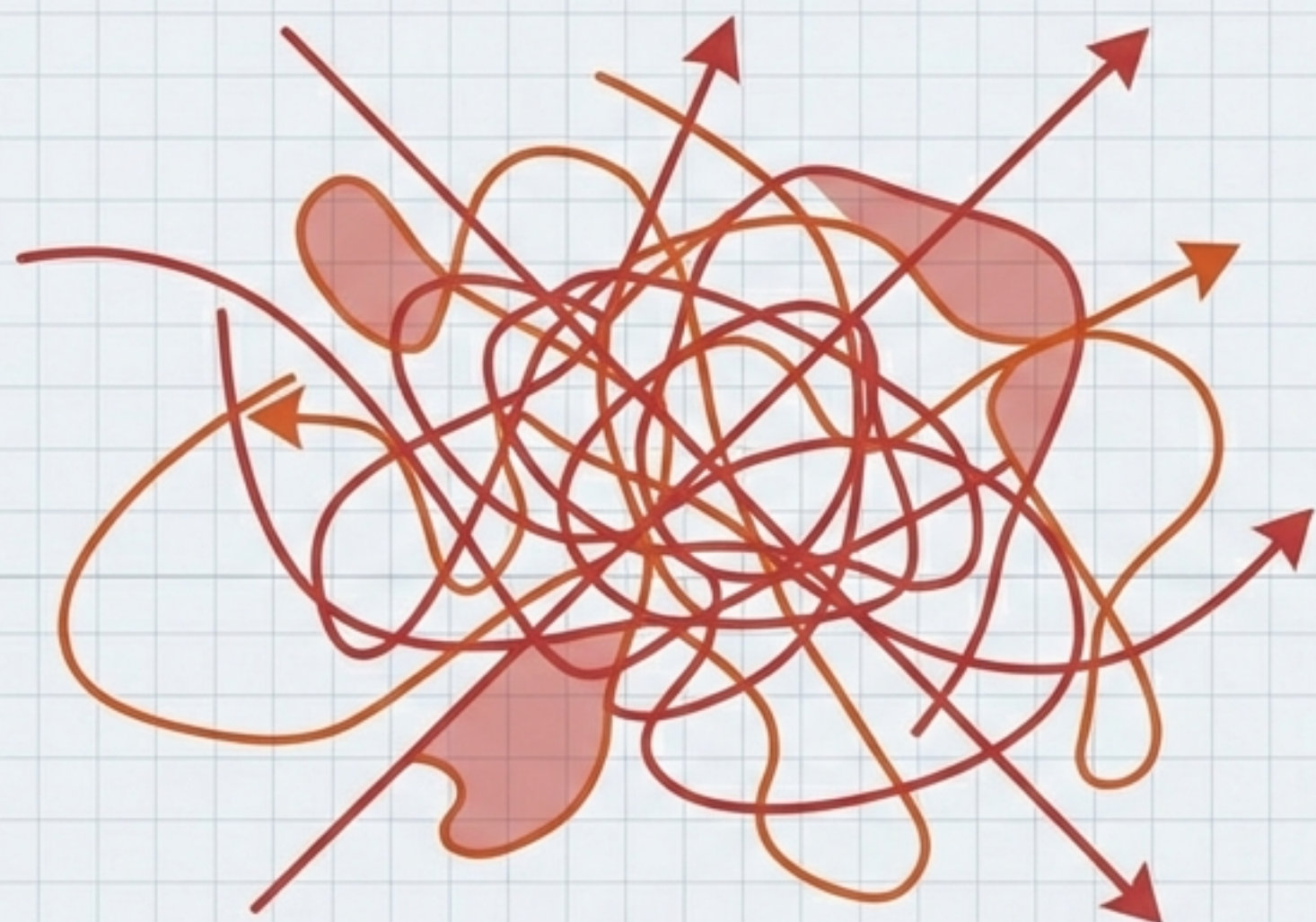
原因は「判断の前提」が整理されていないこと



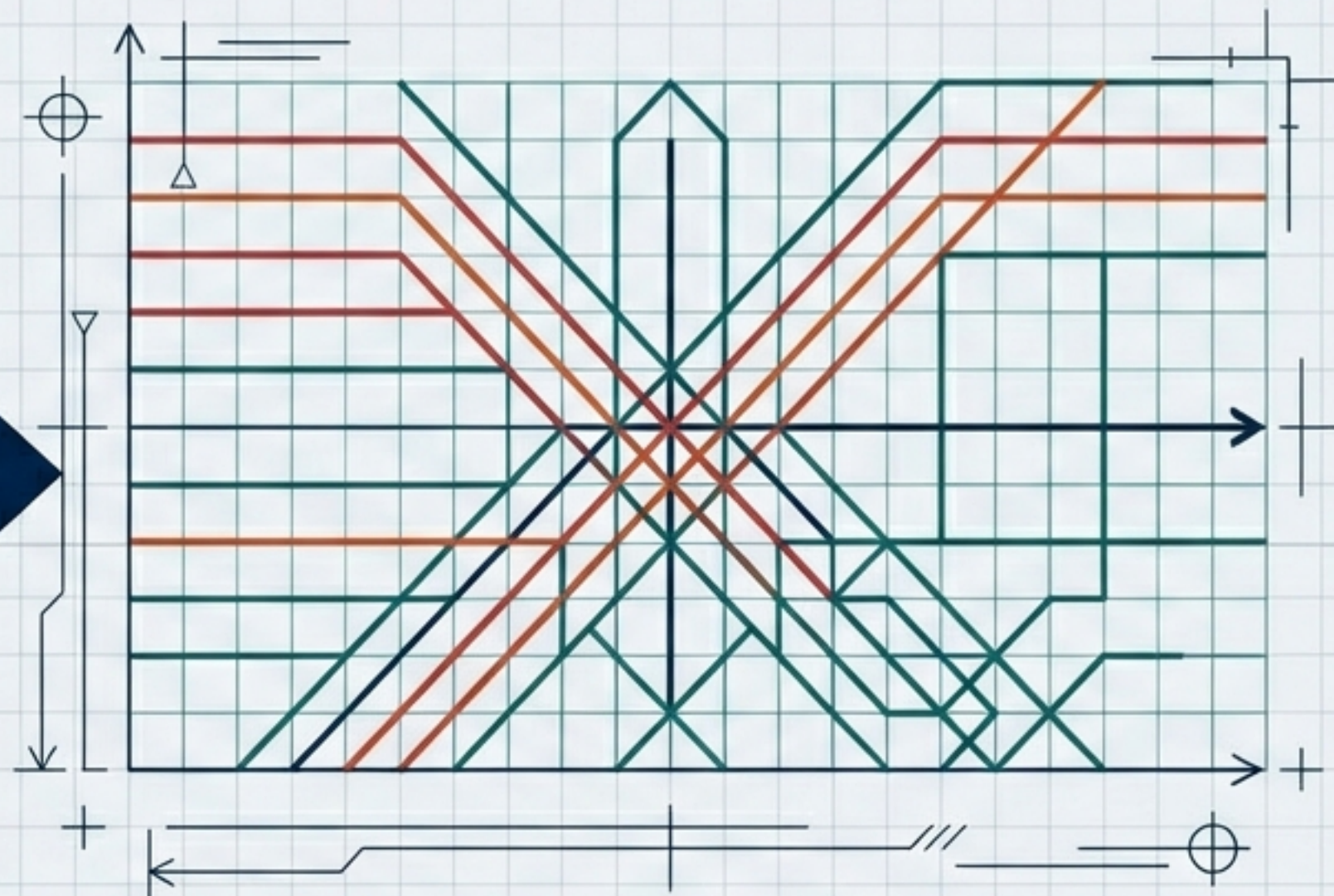
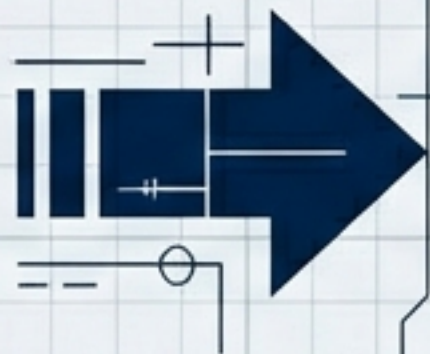
これは「ゴールの場所を知らずに
サッカーボールを蹴る」のと
同じです。

上に行くか下に行くか分からない状態でエントリーするため、
すべての「ダメシ」を自分で引き受けることになります。

必要なのは「勇気」ではなく「前提の固定」



BEFORE: ギャンブル



AFTER: 必然の確認

ブレイクアウトは単体で使う戦術ではありません。
恐怖を消す唯一の方法は、エントリーする前に
「勝負の条件」を設計（デザイン）してしまうことです。

BEFORE: どちらに行くか賭ける

AFTER: 条件が揃った時だけ動く



チャートを見る前に「勝負の方向」を決める



Core Concept:
通貨強弱 (Currency Strength)

Rule:
「強い通貨」 × 「弱い通貨」 のペアを選ぶ

例：ドル強 × 円弱 の場合

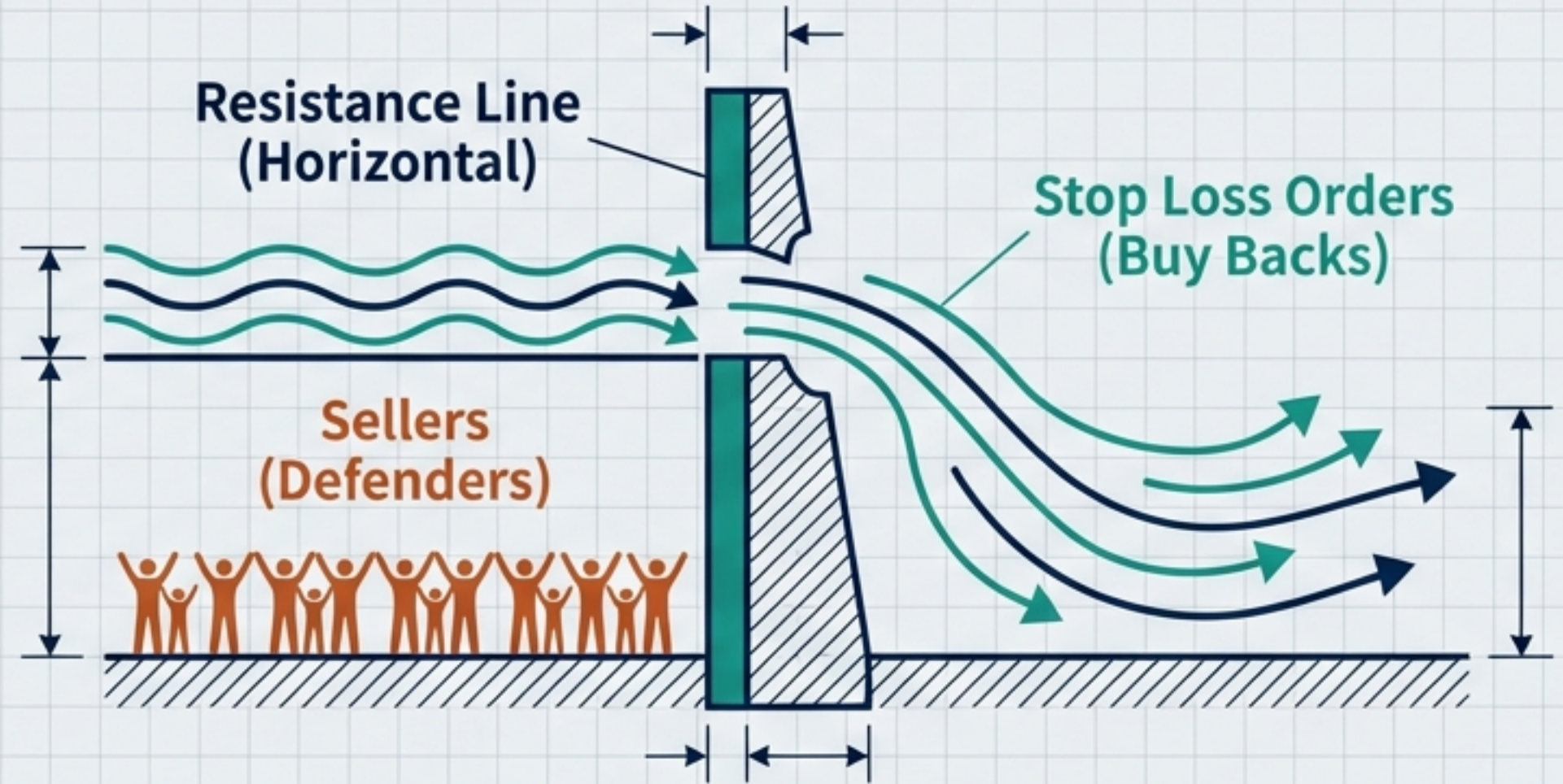
- ・上に抜けた場合 → 「順当（想定通り）」 → エントリー 
- ・下に抜けた場合 → 「想定外（無視）」 → 見送る 

これだけで、トレードはギャンブルではなくなります。

ブレイクアウトは「敗者の撤退」に乗る作業

勢いだけで乗るのではありません。
「防衛ラインの崩壊」を確認
するのです。

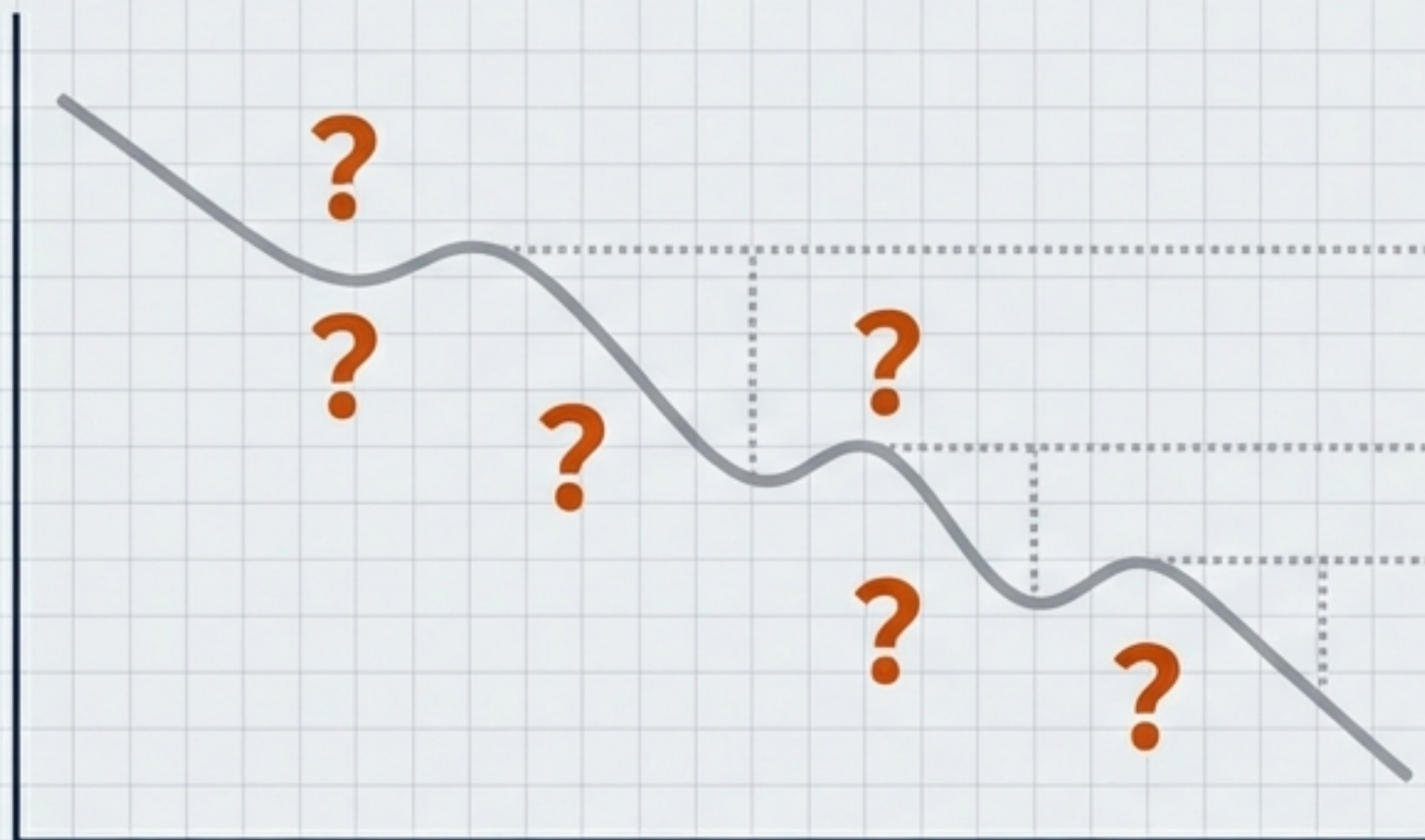
水平線は、何度も価格を止めて
いた「ダム」のようなもの。
ブレイクした瞬間、そこを守って
いた勢力の「損切り(買い戻し)」
が発生します。



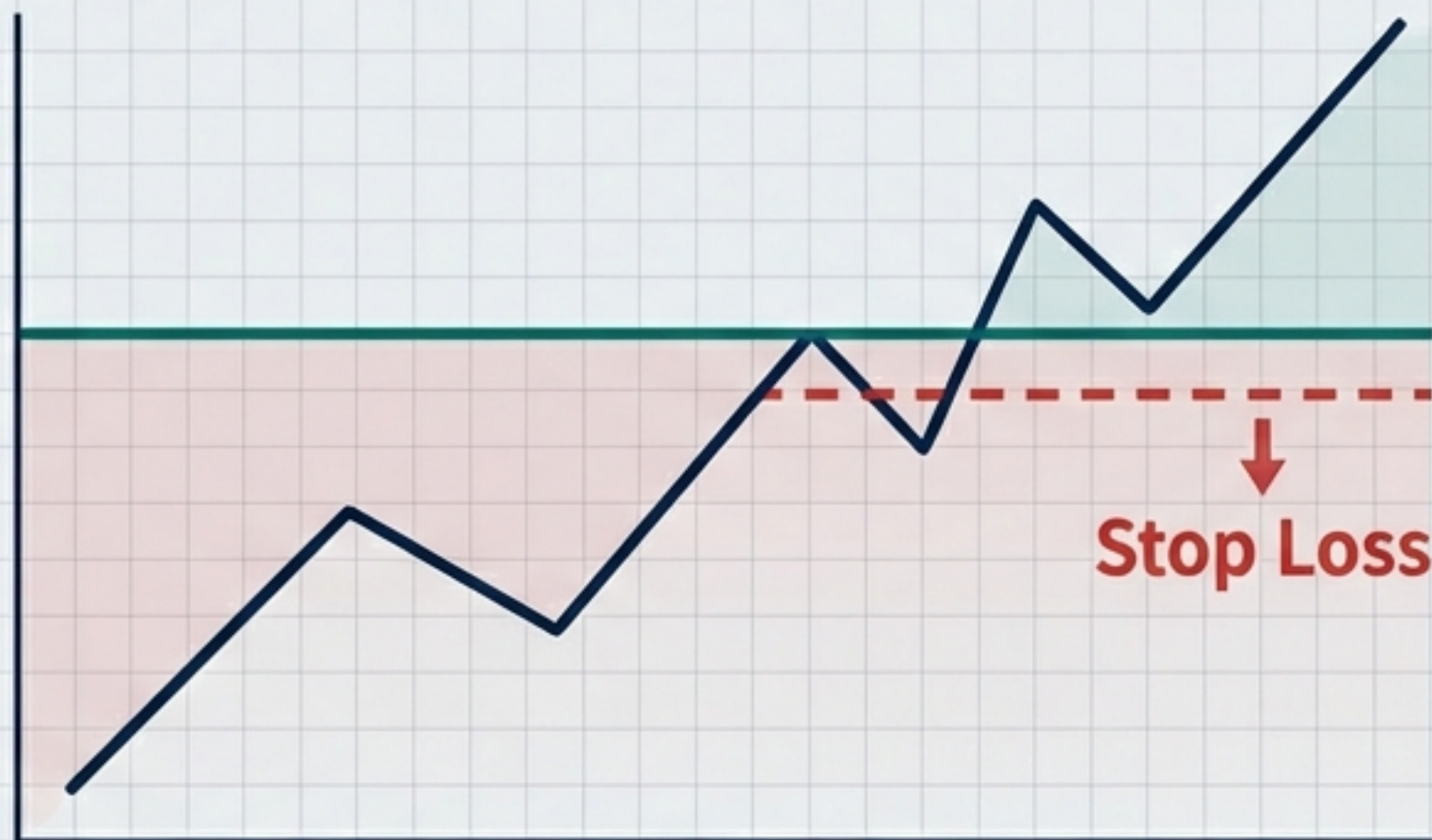
Mindset: 高値で買うではありません。
「負けた側の撤退」というエネルギーを利用するのです。

最も「損切り」が明確なのがブレイクアウト

押し目買い: どこで止まる?



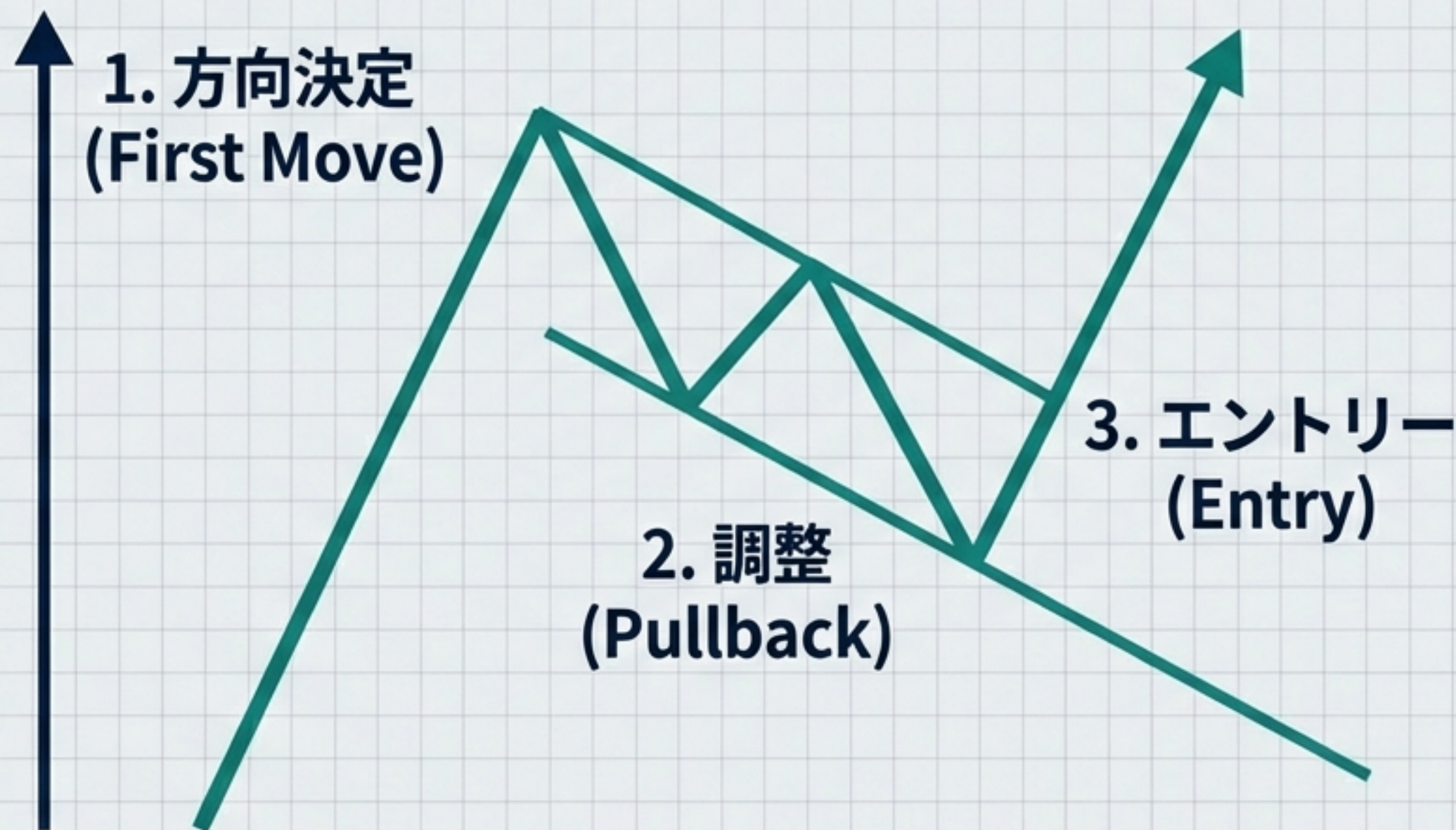
ブレイクアウト: 撤退ラインが明確



恐怖の原因は「どこで逃げればいいのか分からない」曖昧さにあります。
ブレイクアウトなら、ラインの内側に戻ったら「前提崩れ」として即撤退できます。
迷う余地がありません。

「初動が怖い」人のためのトレンドライン戦術

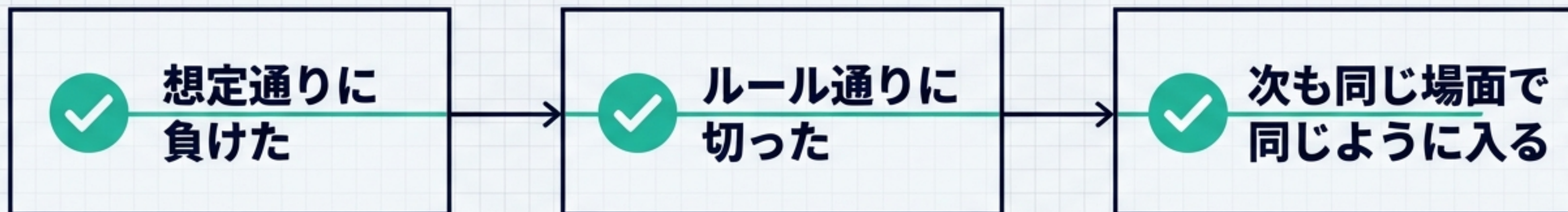
最初の一歩がどうしても踏み出せない人へ



すでに方向が見えており、参加者も増えているため、心理的ハードルが圧倒的に低くなります(2回目の安心ポイント)。

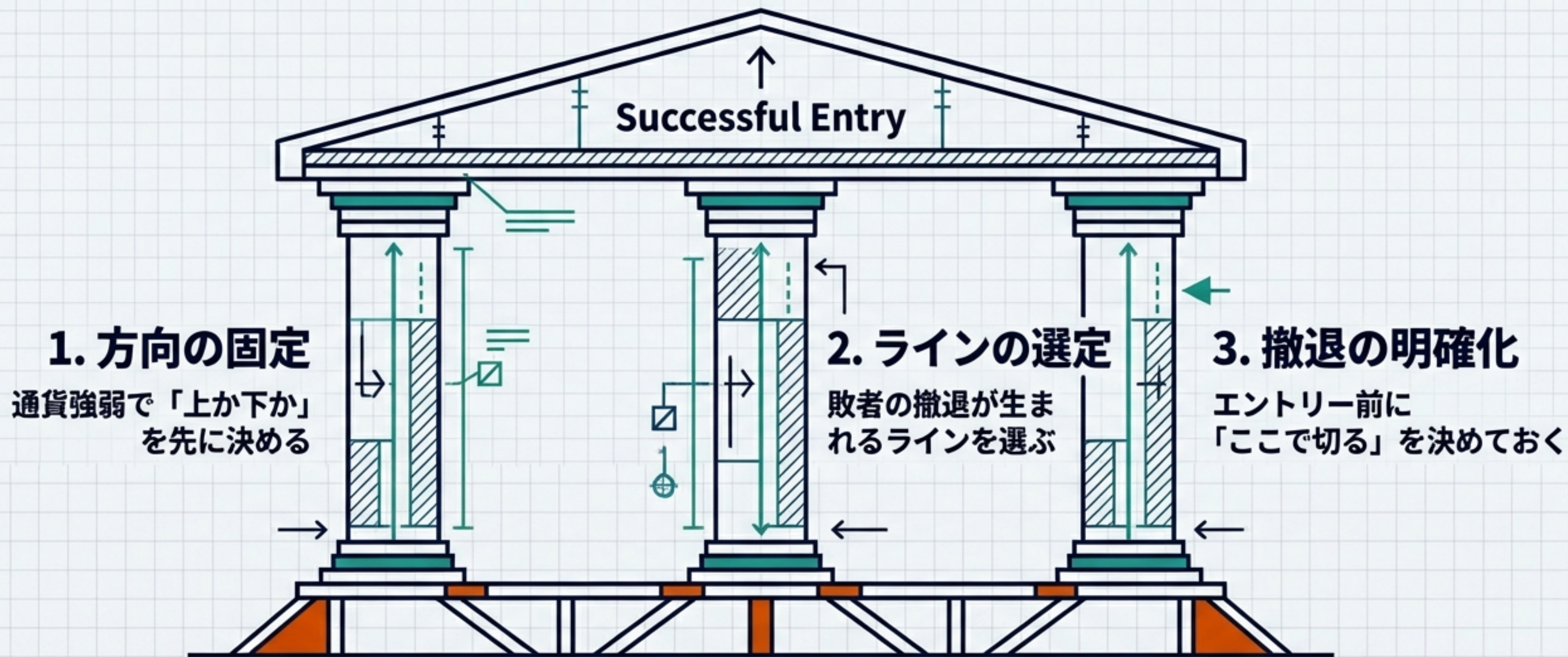
恐怖が消えるのは「勝った時」ではない

「納得して負けられる」 ようになった時、恐怖は消える



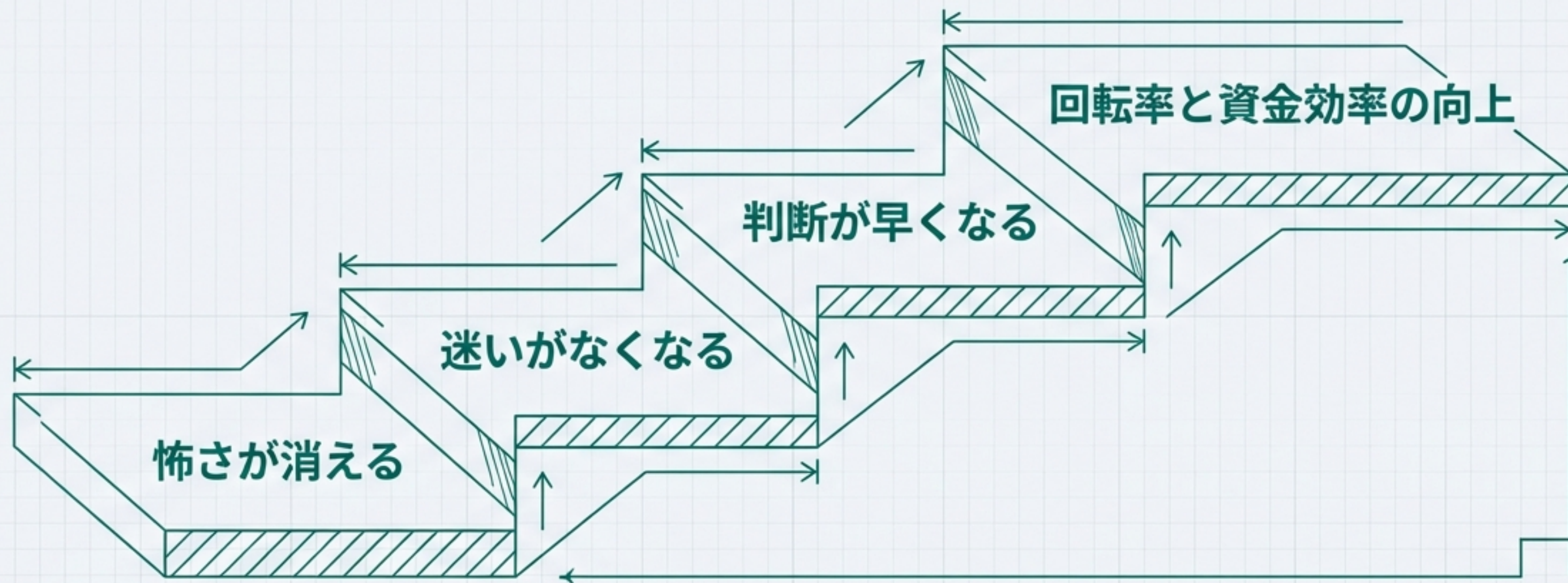
感情が入り込む余地がなくなり、トレードはただの「作業」に変わります。

ブレイクアウトを「武器」にする3つの設計図



「えいや！」という勇気ではなく、「よし、条件が揃った」という根拠でエントリーしましょう。

焦らず、一つずつ「前提」を固めよう



怖さは才能の問題ではなく、設計の問題です。一つずつ前提を積み重ねれば、ブレイクアウトはあなたの最強の武器になります。